

01.ビーチリゾート・ヨット



ランカウイ島は、プーケット、バリなどの賑やかなビーチリゾートと異なり、非常に長閑な雰囲気にも包まれている。島一番のストリート沿いはレストランなどの店舗が並ぶが他のアジアの国々より店の雰囲気も落ち着きのある佇まいである。

大自然が残る島でもあり、自転車を借り、街を少し外れるとすぐに長閑な田園風景や水牛・猿などと遭遇する。

島の観光地としての特性は、マレーシア政府が「第2のペナン」を目指し一切の間接税がかからない為、物価は安い。また様々なツアーがあり無人島を巡るアイランドホッピング、マングローブ樹林をくぐりながら行うカヤック、パヤ島の透明度の高い海でのシュノーケリング・ダイビングなど充実している。その中でもランカウイ南部沿岸の島々の間をセイリングヨットでサンセットクルージングが出来る。港を出て、帆をあげ、エンジンを切ると、そこには音のない大海原が広がり、水平線に沈みゆく夕日を眺めることが出来る。

そのような自然の中に身を置き時の流れを忘れてリゾートを堪能できる島である。

竹内 聡洋